

各位

会社名 テ ラ 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 平 智 之
(コード番号: 2191)
問合せ先 経 理 財 務 部 長 玉 村 陽 一
(電話: 03-5937-2111)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 治療新薬開発共同事業に関するメキシコでの臨床試験実施について のお知らせ

昨日、当社がセネジェニックス・ジャパン株式会社（以下、セネジェニックス・ジャパン）と共同で取り組んでいる新型コロナ感染症（COVID-19）治療新薬共同開発事業に関して、実際には新型コロナ治療薬開発が行われていないとの誤解を与えかねない記事が週刊誌に掲載されました。

当社は、メキシコでの臨床試験を主導するセネジェニックス・ジャパン株式会社より、共同開発事業の契約に基づく情報開示を受けており、当該臨床試験実施に関する公的な臨床研究の承認書（メキシコ保健省のハリスコ州機関に対し、2020年5月～7月の臨床研究の承認を今回の臨床試験の主任医師が申請し6月9日に受理されたもの）および細胞培養の試験成績書等により、現在メキシコ国内において幹細胞による新型コロナウイルス感染症（COVID-19）治療新薬の臨床試験が実施されていることを、当社として以下のように確認しておりますので、お知らせいたします。

1 臨床試験の承認

この度、COVID-19による重症患者がメキシコで激増したことから、特に重症患者に対する適切な治療法がなかったために、緊急治療の必要上、肺疾患治療の効果が期待される間葉系幹細胞による治療を速やかに実施しうるプログラムが制定され、きわめて迅速な承認プロセスで間葉系幹細胞による COVID-19 感染症の臨床試験の実施が可能となりました。

当社では、この度の新薬開発事業の共同開発者であるセネジェニックス・ジャパン株式会社より、上記プログラムによる臨床試験の承認を文書により確認しております。

2 細胞培養の試験成績書

このような緊急の状況下で、2020年5月13日（メキシコ時間12日）に、COVID-19重症例の第1例目に対して間葉系幹細胞が投与されました。その際の試験成績書には、出荷された間葉系幹細胞に関するウイルス否定試験（HIV, HBV, HCV, TP, SHAGAS）、細胞表面表現型（CD34-, CD44+, CD45-, CD73+, CD90+, CD105+）、無菌試験（エンドトキシン、細菌、マイコプラズマ）が記載されており、間葉系幹細胞であることが証明されており、確かに臨床試験のために幹細胞が培養されていることを確認しております。

詳細につきましては、今後の進捗において適宜開示してまいります。

以上